自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

	17**////////					
	事業所番号	0194100202				
	法人名	特定非営利活動法人 和				
事業所名 共生型多機能施設 コロイ・ グループホームコロイ				コロイ		
	所在地	釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁	目5番3号			
	自己評価作成日	平成27年3月10日	評価結果市町村受理日	平成27年4月13日		

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

サナ体却(1)、5件(10)	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action kouhyou detail 2014 022 kani
基本 旧報リング TURL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action kouhyou detail 2014 022 kani =true&JigyosyoCd=0194100202-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

(参考項目:28)

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成27年4月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな環境の中で、それぞれが寄り添い尊重しながら共生していける居場所作り、また、小さなコミニュティならではの特色を生かし誰もが気軽に立ち寄り、和んで頂けるような場所を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

〈楽しみごとへの支援〉

一人ひとりのペースを大切にし、近隣の幼稚園園児が来訪してお遊戯のお披露目やホテルでの人情芝居の鑑賞、クリスマスパーティや餅つき大会開催、ひな祭りや節分行事参加、近隣散歩などでその日をどのように過ごしたいかを把握しながら、希望にそって支援している。

〈地域との交流・連携〉

事業所の持つ専門性を活かしながら、地域の困難事例への対応や食の自立への支援 など地域の関係者と連携しながら地域貢献に取り組んでいる。また、老人会のカラオケ 大会への参加や小・中学校の運動会見物、婦人会やボランティアの協力を得ながら七 タまつりやクリスマス会開催など地元の人々と交流しながら地域と連携した支援に努め ている。

<u> </u>	サービスの成果に関する項目(アウトカム項目		1 - m 1	したうえで、成果について自己評価します		
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	↓該当	取り組みの成 当するものに〇印
		1. ほぼ全ての利用者の		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求		1. ほぼ全ての家族と
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる	○ 2. 利用者の2/3くらいの	63	めていることをよく聴いており、信頼関係ができ	0	2. 家族の2/3くらいと
50	個のでいる (参考項目:23.24.25)	3. 利用者の1/3くらいの	03	ている		3. 家族の1/3くらいと
	() () () () () () () () () () () () () (4. ほとんど掴んでいない		(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
		O 1. 毎日ある		7.08.60.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.		1. ほぽ毎日のように
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	2. 数日に1回程度ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	0	2. 数日に1回程度
37	める (参考項目 : 18,38)	3. たまにある	04	域の人々が訪ねて米ている (参考項目:2.20)		3. たまに
	(5.4.94)	4. ほとんどない		() () () () () () () () () ()		4. ほとんどない
		1. ほぼ全ての利用者が 運営推進会議を诵して、地域住民や地元	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関		1. 大いに増えている	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 2. 利用者の2/3くらいが	65	係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の 理解者や応援者が増えている	0	2. 少しずつ増えている
58		3. 利用者の1/3くらいが	00			3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない		(参考項目:4)		4. 全くいない
		1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
- 0	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ 2. 利用者の2/3くらいが	66		0	2. 職員の2/3くらいが
59	(参考項目:36,37)	3. 利用者の1/3くらいが	00			3. 職員の1/3くらいが
	(5/3-94) :00,077	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
		1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	2. 利用者の2/3くらいが	.7	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	2. 利用者の2/3くらいか
υo	(参考項目:49)	○ 3. 利用者の1/3くらいが	67			3. 利用者の1/3くらいか
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
		1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての家族等が
01	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている	○ 2. 利用者の2/3くらいが		職員から見て、利用者の家族等はサービスにお	0	2. 家族等の2/3くらいが
וט	(参考項目:30.31)	3. 利用者の1/3くらいが	08	3 おむね満足していると思う		3. 家族等の1/3くらいか
	(罗为保口.00,01/	4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
		1. ほぼ全ての利用者が		•		•
~~	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	○ 2. 利用者の2/3くらいが				
02	な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	3. 利用者の1/3くらいが				
	1、32万月日:20)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				

4. ほとんどいない

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部	評価
評価			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.	理念	に基づく運営			
1		〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実 践につなげている		職員と共に事業所独自の理念を作りあげ、 スタッフ会議や日常業務を通じて話し合い、 理念を共有して実践につなげている。	
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ンティアの皆さんの協力を得て、七夕まつり やクリスマス会、お餅つきなど地域の皆さん		
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活 かしている	介護を身近に感じていただけるように、老人会の方々とカラオケで交流したり、色々な催しを開催して気軽に立ち寄れる環境を作っています。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評 価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		年6回を目安に運営推進会議を開催し、利用 状況や日常生活の様子等について意見交換 を行い、サービスの向上に活かしている。	
5		〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	閉鎖的にならないように、施設の状況報告や 難ケースの相談をしケアに活かすようにして います。		
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ケースカンファレンスや打ち合わせ時に定期的に虐待・身体拘束をテーマとし啓発しています。	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を外部・内部研修参加を通じて正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7	/	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に 努めている	に、虐待、身体拘束をテーマに話し合いの場		

自己	自 外 己 部 平 評 項 目 西 価		自己評価	外部	評価
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	/	〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性 を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援し ている	実際に後見制度を利用している方がいるので、後見人の方と話し合いの場を設け、管理者や職員が制度について理解をし、支援しています。		
9	/	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家 族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理 解・納得を図っている	提供する介護サービスの内容、限度などを 明確に説明し、理解をして頂いた上で契約し ていただいています。 重要事項なども読み 上げ疑問に感じる部分にも納得していただけ る説明を心がけています。		
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並び に外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反 映させている	主なこを向い又版体前に及吹しています。	家族との連携を大切にし、訪問時や電話で本人の体調の変化や近況を報告している。また、事業所の行事や運営推進会議等にも積極的に参加して貰えるように促したり、家族会を開催して利用者や職員との交流ができるように取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている		年1回の個人面談の実施や毎月のスタッフ会議で職員の意見、提案を聞く機会を設け、運営に反映させるよう努めている。	
12	1 /	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいな ど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条 件の整備に努めている	職員の能力、資格、経験等に応じた処遇を 行う事を基本とし、向上心を持って取り組め るような環境づくりをしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め ている	自己評価を実施してもらい、それぞれのレベルを知ることで次の目標、また、特性に合った役割を持ってもらい取り組んでもらっています。		
14	/	〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り 組みをしている	協議会主催の研修会などに参加したり、同法人内で行われている研修会などにも積極的の参加をし、意見交換なども活発にしています。		

自己	自 外 己 部 評 評 項 目 _ 価 価	自己評価	外部	評価	
一個	F 評		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
П.	安心	と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	/	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困って いること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本 人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用契約時に、ご本人・ご家族より細やかな 部分まで聴取しアセスメントを作成、ご本人 の望まれる生活や支援方法を明確にプラン に反映させるよう心がけています。		
16	- /	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、 関係づくりに努めている	ご家族から不安や要望など詳しく伺い信頼関 係を築けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等 が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	初期段階の状況や状態を把握し、今何が必要なのか?といったことを意識して対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩として常に敬い、寄り添うこと で同じ時間を共有しよいよい信頼関係を築け るように支援しています。		
19	- /	〇本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支え ていく関係を築いている	あまり面会に来られないご家族様にも、定期的に電話などで連絡を取り状況などをお知らせし、ご家族様からのアドバイスもケアの参考にさせていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのお店での買い物や、外出をすること で出来るだけ可能な限り関係が途切れない ように支援しています。		
21	/	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションなどで何かをする楽しさを皆 さんで共有をしていただいたり、孤立しないよ うに職員が間に入り調和を図っています。		

自己	自己評価	項目	自己評価	外部	評価
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係 性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された利用者様やそのご家族様が気軽 に立ち寄れる環境、施設を目指しています。		
Ⅲ.	その	り人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン			
23		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に 努めている。困難な場合は、本人本位に検討してい る	ます。 困難な場合は、その方にストレスの	一人ひとりの思いや意向の把握に努め、職 員間で情報を共有し、本人本位に検討してい る。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	地域の方や馴染みのある方らお話しを伺ったり、出来るだけ生活歴に沿った支援、既往 歴の把握に努めています。		
25	I/	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	個人、個別対応を基本の考えとし その人に 合わせた支援方法を考えています。		
26			スタッフの目線ばかりにとらわれず、ご家族 様や関係者からの情報や意見なども参考に プラン、支援の方向に取り込んでいます。		
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実 践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、申し送りなどで重要な事項を伝達、共有し新たなプランに反映させています。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が遠方に住んでいる方などに対し、入 居者様と一緒に訪問したり、家族会(食事 会)などを企画したりしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮 らしを楽しむことができるよう支援している	その人の生活にあった地域資源を有効活用 しプランにも取り入れていく。		
30		〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	があるので、近郊の医療機関をかかりつけと	通院への支援や法人の看護師との連携で適切な医療を受けられるように支援している。 また、受診は、本人や家族の希望するかかり つけ医となるよう努めている。	

自己	9 外部 評評価価	項目	自己評価	外部	評価
評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31	/	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	スタッフで判断できない事等は小規模スタッ フの看護師に相談し、適切な処置・対応をし ています。		
32	$ \ $	〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 また、できるだけ早期に退院できるように、病院関 係者との情報交換や相談に努めている。又は、そう した場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っ ている。	かかりつけの医療機関では入院機能があまり期待できないことが多いので、大型の医療施設に受診の際にケースワーカーや看護師に相談するようにしています。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で できることを十分に説明しながら方針を共有し、地 域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療との連携が困難な地域なので終末期、 看取りの方々には対応しきれないことはあら かじめご家族様に説明をし、納得いただいて ます。		
34	/	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	総合避難訓練のなかに消防署職員による救 命講習も取り入れています。		
35	13	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるととも に、地域との協力体制を築いている	地域の協力がスムーズにできるように近隣 住民や町内会に、災害時の応援要請に尽力 していただけるように協力体制の構築に努め ています。	行政主催の噴火を想定した自然災害の大規模避難訓練にも参加していると共に夜間を想定した避難訓練を年2回実施している。また、本年度は避難階段横に避難用スロープを新規に設置している。	
IV.	その	り人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36		〇一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	全スタッフに尊厳に対する意識を高めてもら うよう啓発、教育していく時間をつくってます。	ー人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言葉かけがないように職員間で周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	業務的になったり押し付けにならない様にあくまで利用者様の意思、希望を第一に支援したいと考えています。		
38	/	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ご したいか、希望にそって支援している	パーソンセンタードケアの概念で、あえて手間をかけて対応していくようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	外出時にはお化粧をしたり、定期的に散髪を したりその方個性を表現することを大切にし ています。		

自己評	外部評価	項目	自己評価	外部	評価
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	誕生日にはその方の好物を提供したり、野 菜の皮をむく、切るなど、できる範囲で一緒 に行っています。	一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や後片付けなど職員と一緒に行っている。また、栄養バランスや水分・食事摂取量を把握している。	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応 じた支援をしている	一日の水分摂取量を把握、脱水、摂り過ぎ にならぬよう管理提供しています。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人 ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをし ている	食後の口腔ケアや義歯洗浄は出来るだけ利用者様にお願いして、仕上げや自立困難な方はスタッフが対応してます。		
43	16	〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの 排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	その方の排泄パターンを把握し、トイレに誘導。基本は布パンツを使用していただき、夜間などはパットを使用していただいています。	一人ひとりの力や排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	便秘にならぬよう、体操を積極的に参加して もらい食材や飲み物にも注意してます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々にそった支援をしている	極力、利用者さんの希望に沿えるような時間 設定をしています。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に 応じて週2回〜3回以上を目安に入浴支援を している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援 している	利用者様それぞれの生活リズムや習慣など に合わせ違和感、ストレスを感じないでいた だける様な生活を提供したいと考えていま す。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている	服薬方法も個々の状態等に合わせた対応を 実施しています。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	家事や菜園が得意な利用者様には、能力を 存分に発揮していただける様、手伝っていた だいたりしています。		

自己	外部評価	項目	自己評価	外部	評価
評価	評価	次 口	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援に努めている。また、普段は行けな いような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけられるように支援し ている	近所に散歩や買い物に出掛けたりしますが、 月に何度かは近郊や郊外に『おでかけ』の時間を設けています。 行き先も、季節に合わせた場所や祭事など。	日常の散歩や買い物、回転寿司や温泉施設での外食、東藻琴の芝桜見学、幼稚園や小・中学校の学芸会や運動会見物など普段は行けないような場所への外出支援も行っている。	
50	/	〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持 したり使えるように支援している	『おこづかい』という事でご家族様から預かっていますが、ご自身で持ちたい希望の方には所持していただいてます。		
51	I /	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があればご家族様への電話や手紙を書いていただいてます。 混乱される 恐れのある利用者様にはご家族様と相談して都度対応を考えています。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように 配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく 過ごせるような工夫をしている		利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、 光の強さは感じられない。また、共用空間に は、季節に合わせた飾り付けや利用者と一 緒に作った作品の展示などで生活感や季節 感を採り入れ、居心地よく過ごせるような空 間になっている。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫 をしている	どうしても気が合わない同士の利用者様もいらっしゃるのでフロアの座席の位置、向きなどに配慮しています。 フロアで過ごす時間が多い方には、時々ゆったり過ごせる場所を作っています。		
54		〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、 本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に馴染みの物や使い慣れた物など をお持ちになってもらっています。	居室には、使い慣れた家具や寝具等が持ち 込まれ、本人が居心地よく過ごせるような空間になっている。	
55	/	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	基本的にいつまでもお元気でいてほしい、出 来るだけ自立した生活を送っていただきたい という考えで支援しています。		

目標達成計画

グループホーム コロイ

作成日: 平成 27年 4月 6日

【目標達成計画】

		· H 2			
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	新しいスタッフが増えたため、ケアにばらつきを 感じている。	スタッフ全員が状況や情報を共有し、良い ケアに繋げていきたい。	内部研修などで接遇や介護の基本などを学び、また、自己目標を設定することでスキルアップを目指しています。	12か月
2	53	利用者さんの精神的・肉体的変化にそったケア がなかなかできない。	日々変化している利用者さんのニーズを把握し、臨機応変に対応する。	スタッフ間での情報を交換したり共有すること で、ケアの統一をはかっています。	12か月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。 注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。